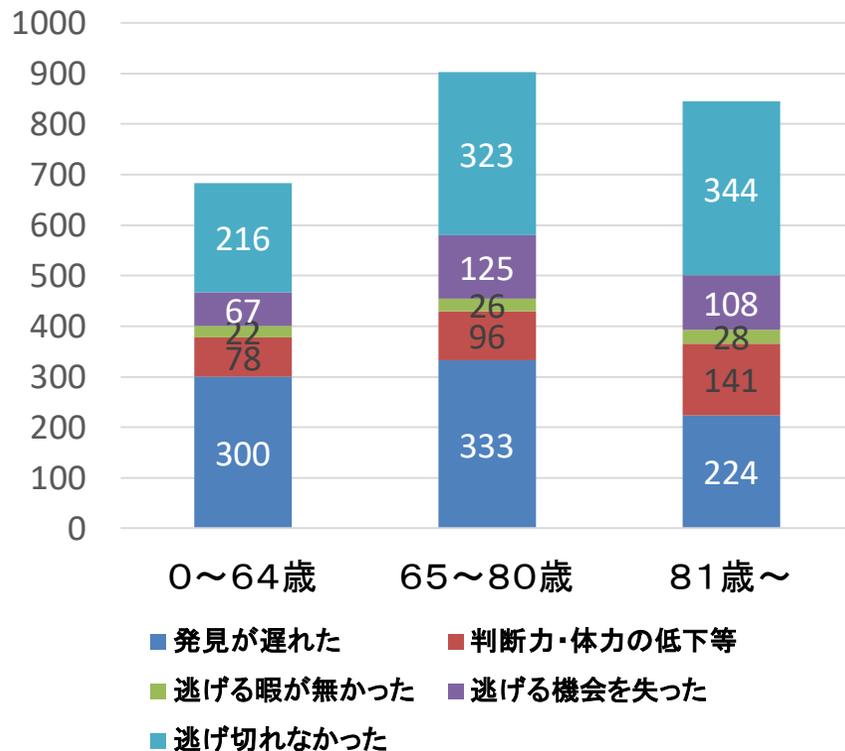


逃げ遅れの内訳では、0歳～64歳及び65歳～80歳の年代で「**火災の発見が遅れた**」が最も多い割合となっており、**就寝中で発見が遅れたこと**が主な原因となっている。

また、81歳以上の年代で「**逃げ切れなかった**」が最も多い割合となっており、**身体が不自由のために逃げ遅れたものや、延焼拡大が早く逃げ切れなかったもの**が主な原因となっている。

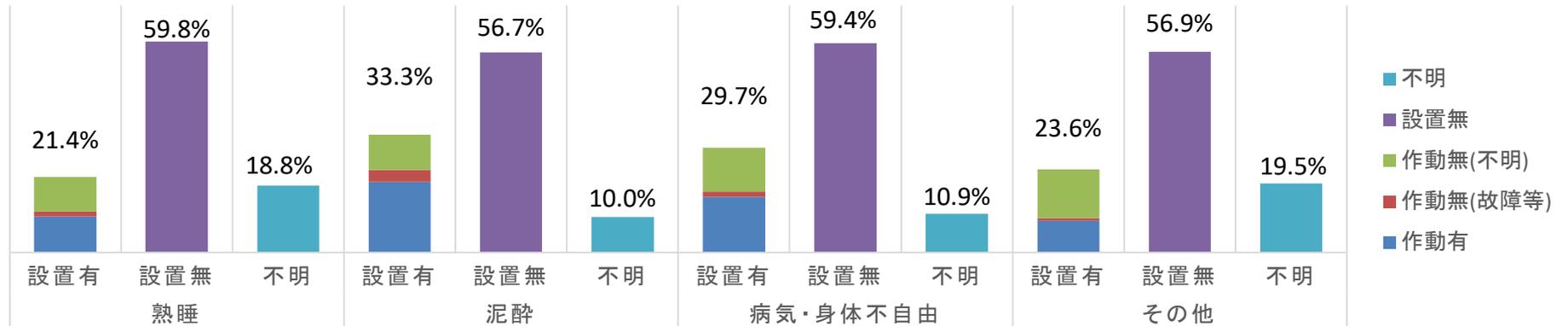
「逃げ遅れ」の理由(中分類)別件数・割合



逃げ遅れの内訳	0～64歳	65～80歳	81歳～																								
火災の発見が遅れた (発見が遅れ、気づいた時は、火煙が回り、すでに逃げ道がなかったものと思われるもの(全く気づかなかった場合を含む))	43.9%	36.9%	26.5%																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0～64歳</th> <th>65～80歳</th> <th>81歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>熟睡</td> <td>62.0%</td> <td>52.9%</td> <td>51.8%</td> </tr> <tr> <td>泥酔</td> <td>4.3%</td> <td>4.5%</td> <td>0.9%</td> </tr> <tr> <td>病気・身体不自由</td> <td>8.7%</td> <td>15.9%</td> <td>14.7%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>25.0%</td> <td>26.7%</td> <td>32.6%</td> </tr> </tbody> </table>					0～64歳	65～80歳	81歳～	熟睡	62.0%	52.9%	51.8%	泥酔	4.3%	4.5%	0.9%	病気・身体不自由	8.7%	15.9%	14.7%	その他	25.0%	26.7%	32.6%				
				0～64歳	65～80歳	81歳～																					
熟睡				62.0%	52.9%	51.8%																					
泥酔				4.3%	4.5%	0.9%																					
病気・身体不自由	8.7%	15.9%	14.7%																								
その他	25.0%	26.7%	32.6%																								
判断力・体力の低下等 (判断力に欠け、あるいは体力的条件が悪く、ほとんど避難できなかったと思われるもの)	11.4%	10.6%	16.7%																								
逃げる暇が無かった (ガス爆発等延焼拡大が早かったため、ほとんど避難できなかったと思われるもの)	3.2%	2.9%	3.3%																								
逃げる機会を失った (逃げれば逃げられたが、逃げる機会を失ったと思われるもの)	9.8%	13.8%	12.8%																								
逃げ切れなかった (避難行動を起こしているが、逃げ切れなかったと思われるもの(一応自力避難したが、避難中火傷、ガス吸引し病院等で死亡した場合を含む))	31.6%	35.8%	40.7%																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>0～64歳</th> <th>65～80歳</th> <th>81歳～</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>身体不自由のため</td> <td>16.2%</td> <td>36.2%</td> <td>38.4%</td> </tr> <tr> <td>延焼拡大が早く</td> <td>35.2%</td> <td>31.3%</td> <td>28.8%</td> </tr> <tr> <td>逃げ道を間違えて</td> <td>3.2%</td> <td>2.5%</td> <td>3.2%</td> </tr> <tr> <td>出入口施錠のため</td> <td>2.8%</td> <td>2.5%</td> <td>2.3%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>42.6%</td> <td>27.6%</td> <td>27.3%</td> </tr> </tbody> </table>					0～64歳	65～80歳	81歳～	身体不自由のため	16.2%	36.2%	38.4%	延焼拡大が早く	35.2%	31.3%	28.8%	逃げ道を間違えて	3.2%	2.5%	3.2%	出入口施錠のため	2.8%	2.5%	2.3%	その他	42.6%	27.6%	27.3%
				0～64歳	65～80歳	81歳～																					
身体不自由のため				16.2%	36.2%	38.4%																					
延焼拡大が早く				35.2%	31.3%	28.8%																					
逃げ道を間違えて				3.2%	2.5%	3.2%																					
出入口施錠のため	2.8%	2.5%	2.3%																								
その他	42.6%	27.6%	27.3%																								
身体不自由のため	16.2%	36.2%	38.4%																								
延焼拡大が早く	35.2%	31.3%	28.8%																								
逃げ道を間違えて	3.2%	2.5%	3.2%																								
出入口施錠のため	2.8%	2.5%	2.3%																								
その他	42.6%	27.6%	27.3%																								

「逃げ遅れ」の理由別 住警器設置(作動)件数・割合

①火災の発見が遅れた



	設置有			設置無	不明	総計
	作動有	作動無(故障等)	不明			
熟睡	28	4	27	165	52	276
泥酔	6	1	3	17	3	30
病気・身体不自由	10	1	8	38	7	64
その他	11	1	17	70	24	123

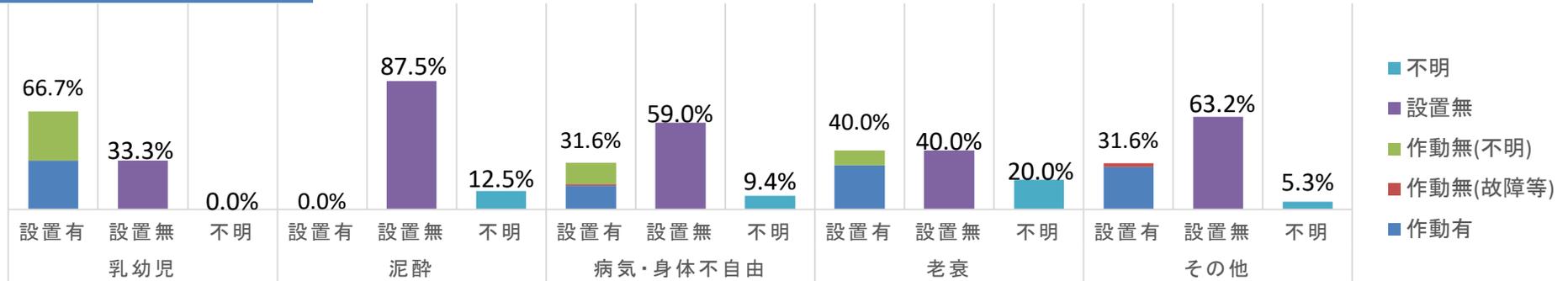
●集計方法の補足

- ・法令どおり設置されていたが、未設置場所からの出火であったため作動しなかった場合は、「設置有・不明」で集計
- ・住警器の電池切れなど、維持管理が不適の状態であっても、住警器が感知できる区域の外で火災が発生している場合は「設置有・不明」で集計
- ・住警器が条例の設置基準に適合しておらず、一部にだけ設置されている場合は、「設置無」で集計

死者の発生経過 追加検討

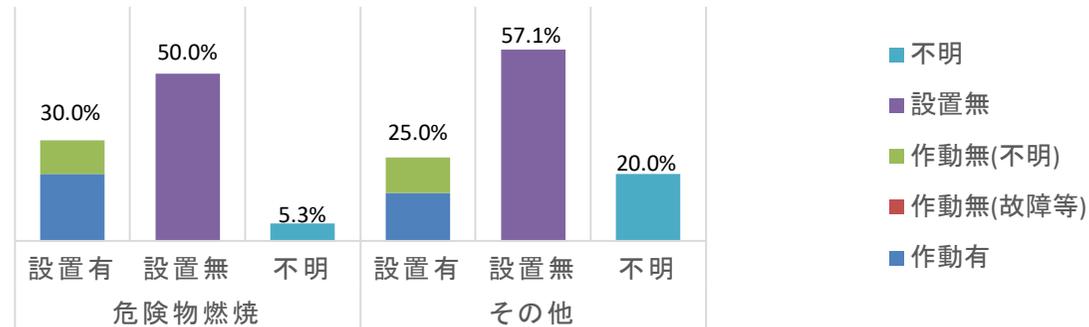
「逃げ遅れ」の理由別 住警器設置(作動)件数・割合

②判断力・体力低下



	設置有			設置無	不明	総計
	作動有	作動無(故障等)	不明			
乳幼児	2		2	2		6
泥酔	0		0	7	1	8
病気・身体不自由	19	1	17	69	11	117
老衰	6		2	8	4	20
その他	11	1		24	2	38

③逃げる暇が無かった

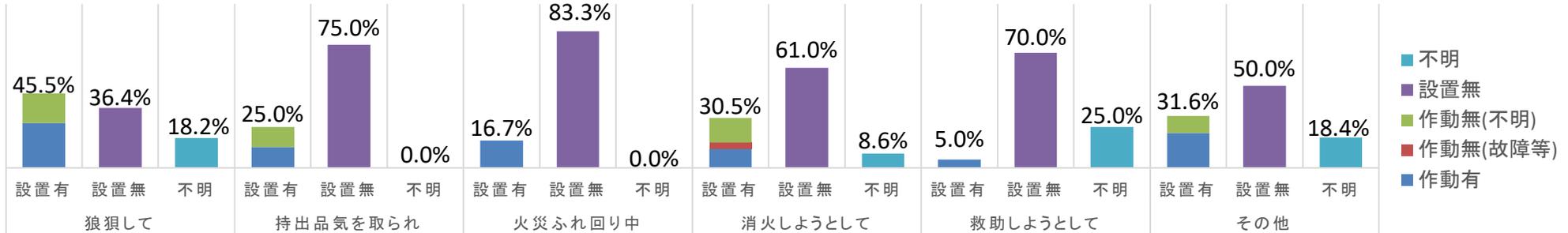


	設置有			設置無	不明	総計
	作動有	作動無(故障等)	不明			
危険物燃焼	2		1	5	2	10
その他	4		3	16	5	28

死者の発生経過 追加検討

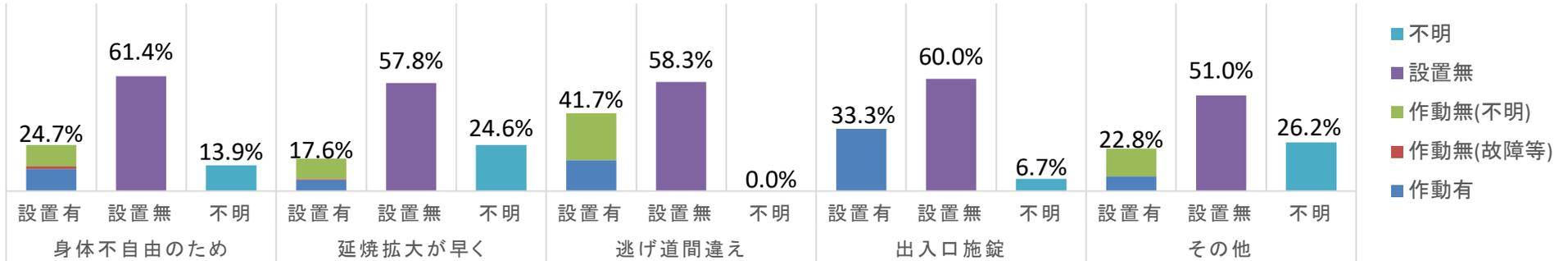
「逃げ遅れ」の理由別 住警器設置(作動)件数・割合

④逃げる機会を失った



	設置有			設置無	不明	総計
	作動有	作動無(故障等)	不明			
狼狽して	3		2	4	2	11
持出品気を取られ	1		1	6		8
火災ふれ回り中	1			5		6
消火しようとして	12	4	16	64	9	105
救助しようとして	1			14	5	20
その他	8		4	19	7	38

⑤逃げきれなかった



	設置有			設置無	不明	総計
	作動有	作動無(故障等)	不明			
身体不自由のため	20	2	19	102	23	166
延焼拡大が早く	12	1	22	115	49	199
逃げ道間違え	2		3	7		12
出入口施錠	5			9	1	15
その他	12		22	76	39	149